

2022年12月期連結決算において過去最高の売上高を記録

- 2022年12月期連結決算において創業以来過去最高の小売売上高および既存店1店舗当たりの年間平均売上高を記録
- 17ヶ月連続で前年売上高同月比プラスを達成
- B-Rサーティワンの売上高も同様に、創業以来過去最高を記録
- 持ち帰り商品や店舗改装、アプリ会員数の増加などが寄与

B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社(所在:東京都品川区上大崎3-1-1/代表取締役会長兼社長 CEO ジョン・キム:東京証券取引所(スタンダード市場):2268 以下、「B-Rサーティワン」)は、この度2022年度12月期連結決算において、1973年の創業以来、過去最高の小売売上高及び、過去最高の既存店1店舗当たりの年間平均売上高を達成したことを報告いたします。また、先月の1月も含み、17ヶ月連続で前年売上高同月比を上回る連続記録史上最長を記録。また、それに伴い、B-Rサーティワンの売上高も同様に創業以来過去最高を記録しました。まさに当社にとって「記録づくしの年」となりました。



当社では2021年より、2031年までに税引き前利益で31億円を目指す長期経営計画に取り組んでおり、4つの柱「ブランドパワー強化」「デジタル化」「スマート31」「販売拠点の拡大」を軸に展開しております。

「バラエティボックス」は2021年の発売以来、先月の1月も含め22ヶ月連続で前年実績を上回り、売上構成比では21.3%を占めております。今後お客様に多くのシーンで楽しんでいただけるよう、新たな商品とプロモーションを展開していきます。

店舗改装を積極的に進めており、昨年は、年間で243店舗を全面改装し、272店舗が新デザインとなっております。これは、サーティワンアイスクリーム史上、また世界のバスキン・ロビンス史上において最大の改装プログラムとなりました。2023年度も年末までに約200店の店舗改装を予定しており、レギュラー店舗の半数近くが新しいデザインとなる計画です。

当社の会員アプリサイト「31Club」の会員数が、昨年11月に600万人を突破しました。「31Club」会員は、売上の30%に貢献しており、会員ではない方に比べ購入額も30%多くなっています。サーティワンアイスクリームへの愛着が最も強く、来店頻度も高いお客様といえます。

新たな店舗形態である持ち帰り専門の「サーティワン To Go」によって、31がお客様により利用していただきやすくなりました。現在、主要都市に9店舗を展開しており、2023年度には更に拡大をしていく予定です。